

## 先輩に聞く！プログラマーへの道しるべ vol.19 川口瑠惟さん

みなさんは、世界の第一線で活躍されている女性プログラマーの方々をご存知でしょうか？ JOI情報オリンピック日本委員会が実施する「先輩に聞く！プログラマーへの道しるべ」では、プログラミングやその周辺の技術や知識を使って活動している女性の先輩方に、お仕事内容や学生時代についてのお話を伺っていきます。

第19回目に登場いただくのは、株式会社NTTデータのテクノロジーコンサルティング事業本部デジタルサクセスコンサルティング事業部に所属し、企画・開発を担当されている川口瑠惟（かわぐち・るい）さんです。聞き手はJOI情報オリンピック日本委員会理事で東京大学の山口利恵が務めます。ぜひみなさんの進路の参考にしてみてくださいね。



NTTデータ 川口瑠惟さん

社内外における業務効率化サービスの企画・開発

山口 NTTデータという会社はよく知られていますが、改めてどんな会社か教えていただけますか？

川口さん NTTデータは、公共、金融、法人などさまざまなお客様に対し、コンサルティングからシステムづくり、システムの運用に至るまで、幅広いITサービスを提供している会社です。また、国内外に拠点を有し、世界50カ国以上にITサービスを提供しています。

山口 川口さんはテクノロジーコンサルティング事業本部デジタルサクセスコンサルティング事業部に所属されているとのこと、どのような仕事ですか？

川口さん お客様のご要望に対してコンサルティングから関わらせていただき、実際にシステムをつくってサービスを提供する仕事です。

たとえば、生成AIとNTTデータが独自開発した情報収集プログラムを用いて、情報検索を行うサービスを提供しています。社外のお客様に対してのサービスもありますし、社内向けのサービスも今年の4月にリリースしました。

山口 具体的にはどのようなサービスですか？

川口さん 社内のさまざまな情報を一括検索できるサービスです。社内のサイトのどこに何があるかわからない場合でも、検索すればほしい情報が取り出せて、業務がより効率化したと感じています。現在は社外のお客様に向けても提供していくという段階です。

山口 いろいろな方とコミュニケーションを取る仕事だと思いますが、どんな時にやりがいを感じますか？

川口さん 企画開発したサービスに対して、ポジティブなフィードバックをいただいた時です。「検索精度が高いね」など褒めていただいた時には、自分たちがつくったサービスがお客様にとって価値のあるものだったと感じられて嬉しい瞬間です。

山口 仕事を通して得た学びはありますか？

川口さん もともと情報系の知識はなかったのですが、入社してから情報の勉強をして、生成AIやプログラミングの知識を身に付けることができました。また、さまざまな分野のお客様とコミュニケーションをさせていただく機会があり、関わる領域を広げていけるところが楽しいですね。

## 休日はからだを動かしてリフレッシュ

山口 休日はどのように過ごされていますか？

川口さん 大学時代の友人たちと旅行に出かけることが多いです。学生時代は海外旅行をよくしていたので、社会人になってからも長期休暇をいただいた時は海外に出かけています。



タイ旅行でゾウと一緒に記念撮影

山口 ウィンタースポーツやヨガなどもされるとか。

川口さん スノーボードは大学時代に始めました。ダイビングは去年の入社1年目の夏休みにライセンスを取得しました。普段の業務では座りっぱなしなので、休日はできるだけ体を動かしてリフレッシュするよう心がけています。



新潟でスノーボード

## 大学・大学院時代は医学や生物学の研究に邁進

山口 ご出身は広島だそうですね。

川口さん はい。呉三津田高等学校を卒業して大阪大学に入学しました。医学部保健学科検査技術科学専攻で、基礎医学や生物学をベースとして、血液検査や病態検査など医療の検査の部分について学びました。

山口 医学部に進もうと思ったきっかけはなんですか？

川口さん 大阪大学のオープンキャンパスで医学の研究発表を聞いて、「最新の医療ってここまでできるんだ」と感動し、医療の道に興味を持ちました。

山口 もともと理系が得意だったのですか？

川口さん そうですね。小中高時代から理系の科目が好きでした。特に科学の実験の授業は毎回楽しみにしていた記憶があります。プログラミングの授業は受けたことがなく、就職を機に本格的に勉強しました。

山口 学部生の時にはサークル活動も頑張っていたらっしゃったとか。

川口さん 大学時代は100人規模のよさこいサークルに所属していて、地方のお祭りなどに参加させていただきました。卒業前に参加した最後のお祭りでは、衣装も自分たちでデザインしてつったり、演舞も考えたりして、すごくいい思い出になりました。



よさこいサークルのメンバー



学部の卒業写真。「大変なことも多かったので、卒業式は達成感でいっぱいでした」

山口 大学院ではすい臓がんの研究をされていたそうですが、どのような研究ですか？

川口さん すい臓がんは原因が明確でないこと、予後が不良なことで知られている病気です。そこで、消化器系の疾患は病原微生物感染が原因になっていることが多いという点に着目して、すい臓がんを引き起こす微生物の特定と発症のメカニズムについて研究していました。実際に疾患されている方の一部検体をいただき、どんな微生物が多く発現しているか、そこから微生物を特定していくという内容でした。大部分は生物系の知識でしたが、実験のデータを確かめる際などに情報系の知識も使っていました。

山口 就職では分野違いである情報系の NTT データを希望したのはなぜですか？

川口さん 医療系への就職を考えて大学に進学したのですが、研究に携わっていくなかで、医療データやAIを使った研究が多いことを学生ながらに感じていて、情報系に興味を持つようになりました。医療と情報を掛け合わせた領域がやりたいと思い、情報の道に進むことを決めました。

## これからの社会、プログラミングスキルは役に立つ

山口 仕事で今目指していることや、今後の目標を教えてください。

川口さん 自身が企画・開発したサービスを通じて、私自身を含む世の中の働く人々がより楽しく、充実した仕事を行える環境を提供することです。目標を実現するためには、まず世の中の働く人々のニーズを的確に把握し、企画したサービスを実現できる技術力が求められると思うので、これからも生成AIの知識やプログラミング力を身に付けていきたいと思います。

山口 最後に、未来のプログラマーへメッセージをお願いします。

川口さん プログラミングの魅力は、アイデアをかたちにできることだと思います。自分が実現したいアイデアをじっくり考え、試行錯誤を繰り返しながら具体化していく過程は、学びや成長の基盤となると思いますし、周囲の人々の困りごとや社会の課題に目を向け、それらの解決に向けて自分ができることを見つけることで、皆さんのプログラミングがより価値あるものになると思います。今後の社会において、プログラミングのスキルはますます重要性を増していくと考えていますので、楽しみながら未来の可能性を切り開いていただければと願っています。私も皆さんに負けないように頑張ります。

山口 本日はありがとうございました。

### 【インタビューを終えて】

やわらかい印象の川口さんですが、その見た目に反して、常に目標を持ちアグレッシブに物事をすすめている姿が印象的でした。詳しくお話を聞く前は、進学した大学での学問と今のお仕事はだいぶ違うように感じていたのですが、いろいろな経験をお仕事に活かしていらっしゃるのも素敵でした。（山口）

次回もお楽しみに。